



新工 SPH 通信

VOL. 2

新潟県立新潟工業高等学校

SPH推進委員会

平成 29 年8月10日

Community cooperation

平成 29 年 7 月 26 日（水）港町・新潟に根ざした企業を見学として「新潟造船株式会社」に機械科 1 年生 80 名が午前と午後に分かれて参加しました。

概要説明の後、工場内をツアーしました。

工場内は撮影禁止なため生徒のコメントのみ

【生徒から出た質問】

- Q：推進装置の種類についてどんなものがありますか？
- A：プロペラ、ウオータージェット、Z ペラの種類があります。
- Q：ウオータージェットのごみ吸い込みについて教えてください。
- A：ゴミはグリッドというスクリーンで除去していて、通過した魚はミンチになって水流と一緒に出て行く。大きな木などは逆洗（逆噴射）で対応しています。

【スキルアップシートより生徒の感想】

- 実際の工場で働いている人を見て、仕事に対する心構えや、規律を感じた。今後そういったことをしっかりやっていこうと思った。
- ブロック工法は納期が短い。
- ものをつくるのにいろいろな工程があることがわかった。たくさんの人がかかわっていることが分かった。
- 海上保安庁の船まで作っていることにおどろいた。
- 一つ一つの作業をこれからしっかりしていこうと思った。
- 船を造ることに興味を持った。

【生徒の変容と身についた力】

- まだ 1 年生であるが、職業選択まで、時間があるようでないと感じたように思った。
- 造船というスケールの大きな企業が身近にあることがわかったようである。
- 企業見学の流れや、企業の人とのやりとりに慣れてきた感じである。
- 船の製作工程が少し理解でき、多数のパーツが溶接により接合され、やがて海へと船出するというストーリーに興味をもったようである。

